

ヘルス事業収益アッププロジェクト～特定保健指導の実施促進～

地域医療振興協会の施設は、日ごろ、地域医療という手段を通じて地域住民の健康づくりに貢献しています。また、医業経営以外でも、多くの施設において様々な保健予防活動が行われており、地域保健医療の確保と質の向上はもとより、住民福祉の増進と地域の振興にも力を尽くしています。

今回、地域医療振興協会公衆衛生委員会においては、常務理事会の承認を得て「ヘルス事業収益アッププロジェクト～特定保健指導の実施促進～」を開始しました。本プロジェクトは、生活習慣病、とりわけ内臓脂肪症候（メタボリックシンドローム）の予防に重点をおいた特定健診・特定保健指導を積極的に進めることにより、健診受診者の健康水準の向上、医療保険者との協働推進に加えて、協会施設にも一定の収益増が期待されるものでもあります。現在の健診体制と現有の医療従事者を有効活用し、受診者の待ち時間の合間に、なるべく健診当日に初回面接を行う等、特定保健指導を充実させることがポイントです。

特定健診・特定保健指導の実施にあたっては、厚生労働省が示した「標準的な健診・保健指導プログラム」に準拠した研修を受けている者が行うことが望ましいとされていることから、プロジェクトの開始にあたり、本部において**特定保健指導実施者（初任者）および事務担当者養成研修を開催**いたしました。**協会内の 30 施設から 89 名が参加し、全員に修了証を交付**いたしました。今後は各施設の進捗に合わせたサポートを行い、プロジェクトを進めてまいります。研修の概要は、下記をご参照ください。

= 研修の概要 =

◆講義（e-ラーニング：受講期間 2025 年 3 月 3 日～14 日）

対象	テーマ	内容	講師	時間 (分)
実施者・事務担当者	①プロジェクトの趣旨説明	◆特定健診・特定保健指導制度の背景と実施状況 ◆JADECOMが特定保健指導を実施する意義	地域医療振興協会 顧問 塚原 太郎	20
	②特定健診・特定保健指導制度について	◆制度の目的、理念、制度、仕組み ◆生活習慣病やメタボリックシンドロームについて	地域医療振興協会 シニアアドバイザー 公衆衛生委員会 委員長 東京北医療センター 副センター長 宇田 英典	30
	③特定保健指導の流れ	◆初回面接、電話・メール支援、評価の方法 ◆ICTを活用した支援など	JADECOMアカデミーセンター 川畑 輝子	40
	④保険者との契約・請求など	◆保険者との契約・請求等の流れ ◆その他、必要な調整・手続きなど	湯沢町保健医療センター 南雲 香織・柳 真紀	30
実施者のみ	⑤個々の生活習慣に関する指導 1	◆エネルギー収支を改善するための保健指導	JADECOMアカデミーセンター 川畑 輝子 湯沢町保健医療センター 柳 真紀 東京北医療センター 高橋 勇貴 台東区立台東病院 楠本 直紀	30
	⑥個々の生活習慣に関する指導 2	◆喫煙・飲酒習慣者への保健指導	ヘルスプロモーション研究センター 中村 正和	40

◆オンライン演習（e-ラーニング受講完了者対象）

日時：3 月 17 日（月）13：00～16：20（事務担当者は 15：20 まで）

3 月 21 日（金）9：00～12：20（事務担当者は 11：20 まで）

内容： 第 1 部…特定保健指導の実施計画作成（実施者・事務担当者の共同作業）

第 2 部…初回面接のロールプレイなど（実施者のみ）